

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	PIA 株式会社第 15 回全日本パラ卓球選手権大会（肢体の部）
助成金額	1,529,000 円

■調査内容

令和5年度スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）助成を受け、「PIA 株式会社第 15 回全日本パラ卓球選手権大会」を開催した一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会の調査を実施しました。

PIA 株式会社第 15 回全日本パラ卓球選手権大会（肢体の部）は、2023 年 11 月 25 日（土）から 11 月 26 日（日）の 2 日間に渡り、男・女シングルス、混合・男・女ダブルス、また、それぞれ障がいの種別・程度によるクラス別になっており、各クラスにおける日本一を決める重要な大会です。また、2024 年度国際大会派遣選手選考にもかかわる大会にもなっています。

約 200 名の選手（車いす選手等）が集まった本大会では、会場へのアクセス、会場内の移動等に配慮が必要となり、スムーズに移動ができる台数のエレベータ等、設備が整っている会場の選択肢が少なく、会場を探すのに苦労されているとのことですが、助成金を受けることにより設備が整った会場での開催、また、通常の試合とは違い多くの審判・ボランティアを確保することができスムーズな大会運営に繋げることができたとのことでした。

また、会場がある地域の中学校及び大学卓球部から約 40 名のボランティアスタッフが参加しており、中学生・大学生のボランティア参加は、本大会で多くの事を感じとり、若い世代からパラ卓球の面白さを広げてくれることを期待でき、パラスポーツへの理解や若い選手の発掘にも繋がります。

調査当日は男・女シングルス（クラス別）が実施され、観客席からの熱い視線の中、世界で活躍している選手、また日本一を目指している選手の熱い戦いが繰り広げられていました。

今回開催要項を公開後に協賛金を得ることができたとのことのお話も伺いました。来年の同大会に向けて構想を初めているとのこと、本大会の開催で得られた知見が、今後の大会運営並びに世界を目指せる選手の増加と、パラ卓球の発展に寄与していくことを期待します。

（令和 5 年 11 月 25 日往査）

(写真) 大会の様子

(※写真提供：一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会)

